資料２

# 子ども・若者（ヤングケアラー）の声を聴く取組
# ヒアリング概要

| | |
|---|---|
| 1. | 日時・場所 |
| | 令和６年８月１６日（金）９：１０～１１：１５　北海道庁本庁舎６階　技監室 |
| 2. | ヒアリング実施者 |
| | 北海道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課　課長補佐　坂本　聖一<br>〃　次世代成育支援係長　大森　美香 |
| 3. | ヒアリング協力者について |
| | ・A さん　１９歳　大学２年生<br>・一人暮らし<br>・週６日間アルバイト、有償学習ボランティアと奨学金で生活費を工面<br>・精神疾患（うつ病）の持病あり |
| 4. | ご家族のことについて |
| | ・「境界知能」により金銭管理ができない母親を A さんがケア<br>・母親は市営住宅で一人暮らし（生活保護受給）<br>・小学生までは祖母が金銭管理を行っていたが、中学生の頃から A さんが金銭管理をしているほか、ケースワーカーや市役所との調整等も A さんが担っている（継続中） |
| 5. | ご家族のケアをするにあたり、支えになったもの |
| | ・学校と勉強 |
| 6. | 学校への相談経験 |
| | ・高校までは相談経験なし。親に代わって金銭管理をすることが当たり前と思っており、「相談」という発想がなかった<br>・大学１年の時に大学内のカウンセリングに相談。以後、合理的配慮が受けられるようになった |
| 7. | 学校以外への相談経験 |
| | ・2024 年３月に、自身の入院をきっかけとして医療ソーシャルワーカー（MSW）、看護師、北海道ヤングケアラー相談サポートセンター（ヤンサポ）、市の子ども部署へ相談<br>・看護師からの指摘により自身がヤングケアラーであると自覚 |
| 8. | あったら良いと思う支援 |
| | ・北海道が設置するヤンサポのような相談窓口　・病院等への付き添い支援<br>・配食支援　・居場所・サロン　・家庭へのお金の面での支援 |
| 9. | 道の支援への意見 |
| | ・北海道の HP について、子どもが見やすくなるよう改善したらどうか<br>・ヤンサポの HP について、オンラインサロンの存在がわかりやすくなるよう改善したらどうか<br>・ポスターについて、もう少しインパクトのあるポスターにしてはどうか<br>・ヤングケアラーカフェの取組を地方でも展開したら良い<br>・ヤングケアラー一人ひとりにケースワーカーの様な担当が付いたら良い<br>・講演会や広報番組等によりヤングケアラーをもっと周知してほしい |
| 10. | その他、思っていること |
| | ・ヤングケアラーは自分では気づけないので、周りが気づかないとダメ |